

## 207 イエスの復活(5)

ヨハネによる福音書 20 : 19~31、マタイ 28 : 16~20、マルコ 16 : 14~18、ルカ 24 : 36~49

### ▶イエス、弟子たちに現れる (ヨハネによる福音書 20 : 19~23)

19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人 (指導者などからの迫害) を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。

→イエスから、ガリラヤに行くように言われていたにも関わらず、エルサレムにいた→ファイル No. 204 イエスの言葉を信じていなかったのである。

タイトル(書名)	章:節 聖句	【検索対象総数 : 5 / 聖句等の総数 33250 (ガリラヤへ)4個 (ガリラヤに)1個】 (新共同訳) 【検索語彙 : ガリラヤへ・ガリラヤに】
S マタイによる福音書	26:32	しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く。」
S マタイによる福音書	28:7	それから、急いで行って弟子たちにこう告げなさい。『あの方は死者の中から復活された。そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。そこでお目にかかれる。』確かに、あなたがたに伝えました。」
S マタイによる福音書	28:10	イエスは言われた。「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる。」

19b

そこへ、(突然) イエスが来て真ん中に立ち、「**あなたがたに平和があるように**」 (→シャローム Shalom・アレイヘム) と言われた。

→アッサラーム・アライクム : あなたに平安がおとずれますように。

→精神的、物質的、人格的、対人的な場面で、何かが欠けておらず完結している様子右から Shin-Lamed-Mem の組み合わせで、音で言うと、Sh (シュ)、L (ラ)、M (メ) になります。



ルカによる福音書 24 : 37~43
彼らは恐れおののき、亡霊を見ているのだと思った。(彼らは、復活したイエスを見たと言う、マグダラのマリアたちの証言を信じる事が出来ていなかった。)
そこで、イエスは (叱って) 言われた。
「 <b>なぜ、うろたえているのか。どうして心に疑いを起こすのか。わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしだ。触ってよく見なさい。亡霊には肉も骨もないが、あなたがたに見えるとおりに、わたしにはそれがある。</b> 」
こう言って、イエスは手と足をお見せになった。彼らが喜びのあまりまだ信じられず、不思議がっている <u>ので</u> 、イエスは、「ここに何か食べ物があるか」と言われた。
そこで、(夕食用に) 焼いた魚を一切れ差し出すと、イエスはそれを取って、彼らの前で食べられた。

(20 そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。)  
→イエスは十字架につけられたとき、手や手首に釘を打たれた (ヨハネ 19 : 18)。



21 イエスは重ねて言われた。

「**あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。**」

→大宣教命令 (マタイ 28 : 18~20)

→イエスは、近寄って来て言われた。「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にきなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」 (マタイによる福音書 28 : 18~20)

22 そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。

「**聖霊を受けなさい。** 23 **だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その**（人の）**罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。**」

→イエスは以前に約束した通り、弟子たちに聖霊を遣わした（14：16、26、16：7）。

→聖霊を授けたことで、イエスは弟子たちに罪を赦す力と権威を与えた。神のみが罪を赦すと信じられていたが、イエスは、これからはイエスに従う者たちが、それを担うと言う（マルコ 2：7）。教会の罪を赦す権限も、イエスによる派遣に基づく（ヨハネ 20：21）。

▶**イエスとトマス**（ヨハネによる福音書 20：24～31）

24 十二人の一人でディディモ（双子の意）と呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。

→聖書には、なぜトマスが彼らと一緒にいなかったのかは記していない（その理由を記す必要がないからから書いていないのである）。

25 そこで、ほかの弟子たちが、「**わたしたちは主を見た**」と言うと、

トマスは言った。「**あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。**」

26 さて（週の初めの日一日曜日一の夕方から）八日の後（の日曜日）、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「**あなたがたに平和があるように**」と言われた。

27 それから、トマスに言われた。「**あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。**」

28 トマスは答えて、「**わたしの主、わたしの神よ**」（→“My Lord and my God!”）と言った。

→トマスは、イエスが十字架で受けた傷を見て、イエスが復活したと確信した。「主」のギリシア語「キュリオス」は、主人を意味し、呼びかけるときの尊称でもある。イエスに対して使われる場合、イエスの権威と力を強調している。

29 イエスはトマスに言われた。「**わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。**」

30 このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさったが、それはこの書物に書かれていない。

→しるし：ギリシア語の「セメイオン」が「奇跡」の意味で使われている。

31 これらのことが書かれたのは、あなたがたが、**①**イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、**②**信じてイエスの名により命を受けるためである。

→**①②**は、ヨハネがこの書を書いた目的である。ヨハネはイエスのしるしを語ることにより、実際のイエスを見なかった人びとがイエスを信じるようになる（ヨハネ 20：29）ためにこの書を書かれた。

**【参考】トマス Thomas**→「双子」アラム語 あだ名：「ディディモ」、漁師または大工／ガリラヤ出身

思ったことを隠せない正直者で、見たものしか信じられない愚直なところがあった。イエスの復活も信じることができず、「疑い深きトマス」といわれる。最後の晩餐の席で、イエスが死を預言して父の家に行くといったときは、トマスだけは正直に疑問を呈した。復活したイエスから、「信じない者ではなく、信じる者になりなさい」と言われ、イエスの復活を信じた。トマスはインドまで赴いて宣教し、南インドで、バラモン教徒により槍で突き刺され、殉教したとされているが、史実的な裏づけはない。

**【参考】復活したイエスの顕現**

- < 1 > マグダラのマリアに現れる (マルコ 16 : 9~11、ヨハネ 20 : 11~18 他) →ファイル No. 204
- < 2 > 婦人たちに (マタイ 28 : 9~10 他) →ファイル No. 204
- < 3 > エマオ途上の二人の弟子たちに (ルカ 24 : 13~32 他) →ファイル No. 206
- < 4 > シモン・ペトロに (ルカ 24 : 34) →ファイル No. 206
- < 5 > トマスを除いた弟子たちに (ヨハネ 20 : 19~25、ルカ 24 : 36~49 他) →ファイル No. 207
- < 6 > トマスを含む弟子たちに (ヨハネ 21 : 24~31) →ファイル No. 207
- < 7 > ガリラヤ (ティベリアス) 湖畔で7人の弟子 (ペトロ他) たちに (ヨハネ 21 : 1~25)
- < 8 > 500人以上の兄弟 (信徒) たちに (I コリ 15 : 6)
- < 9 > ヤコブに (I コリ 15 : 7)
- < 10 > オリーブ山で使徒たちに (使徒 1 : 3~12)

**【参考】四福音書に登場する「平和」**

		聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 平和]
タイトル(書名)	章:節 聖句	[検索対象総数 : 15 / 聖句等の総数 33250 <平和>19個]
S マタイによる福音書	5:9	平和を実現する人々は、幸いである、／その人たちは神の子と呼ばれる。
S マタイによる福音書	10:12	その家に入ったら、『平和があるように』と挨拶しなさい。
S マタイによる福音書	10:13	家の人々がそれを受けるにふさわしければ、あなたがたの願う平和は彼らに与えられる。もし、ふさわしくなければ、その平和はあなたがたに返ってくる。
S マタイによる福音書	10:34	「わたしが来たのは地上に平和をもたらすためだ、と思っはならない。平和ではなく、剣をもたらすために来たのだ。
S ルカによる福音書	1:79	暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、／我らの歩みを平和の道に導く。」
S ルカによる福音書	2:14	「いと高きところには栄光、神にあれ、／地には平和、御心に適う人にあれ。」
S ルカによる福音書	10:5	どこかの家に入ったら、まず、『この家に平和があるように』と言いなさい。
S ルカによる福音書	10:6	平和の子がそこにいるなら、あなたがたの願う平和はその人にとどまる。もし、いなければ、その平和はあなたがたに戻ってくる。
S ルカによる福音書	12:51	あなたがたは、わたしが地上に平和をもたらすために来たと思うのか。そうではない。言うておくが、むしろ分裂だ。
S ルカによる福音書	19:38	「主の名によって来られる方、王に、／祝福があるように。天には平和、／いと高きところには栄光。」
S ルカによる福音書	19:42	言われた。「もしこの日に、お前も平和への道をわきまえていたなら……。しかし今は、それがお前には見えない。
S ルカによる福音書	24:36	こういうことを話していると、イエス御自身が彼らの真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。
S ヨハネによる福音書	20:19	その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。
S ヨハネによる福音書	20:21	イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」
S ヨハネによる福音書	20:26	さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。